

## 令和5年度「アウトリーチ（訪問支援）研修」 実地研修計画書

## 【1 機関・団体概要】

機関・団体名	NPO 法人メンタルコミュニケーションリサーチ
機関・団体代表者	理事長 齋藤暢一郎
所在地	〒181-0001 東京都三鷹市井の頭三丁目6番23号
電話番号／FAX番号	080-9035-2009(事務局) / 020-4664-1318(事務局)
HPアドレス	<a href="https://www.mcr-npo.com/">https://www.mcr-npo.com/</a>
研修実施場所	東京、千葉地域の場合 〒136-0071 東京都江東区亀戸2-19-1 亀戸文化センター 神奈川地域の場合 〒221-0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2 かながわ県民センター 埼玉地域の場合 〒336-0021 さいたま市南区別所7-20-1 武蔵浦和コミュニティセンター 北海道札幌地域の場合 〒060-0807 北海道札幌市北区北7条西1丁目1-11 丸増バームハイツ札幌 201号室
研修実施場所の最寄駅	東京、千葉地域の場合 JR線「亀戸駅」 神奈川地域の場合 JR線「横浜駅」 埼玉地域の場合 JR線「武蔵浦和駅」 北海道札幌地域の場合 函館本線「札幌駅」
団体概要 (設立趣旨等)	2000年に設立した不登校・ひきこもり支援を行うNPO法人であり、東京支部、千葉支部、神奈川支部、埼玉支部、北海道札幌支部の5支部にて活動している。臨床心理士を中心とした、様々なボランティアスタッフで構成されるチームアプローチを行っている。家族相談、訪問支援（アウトリーチ）を基本活動としており、東京都若者社会参加応援事業登録団体（訪問相談）である。
職員数	78名（内訳：常勤 0名 / 非常勤 4名 / ボランティア 74名）
機関・団体の アウトリーチの特徴等	東京、千葉、横浜、埼玉、北海道札幌の5支部で活動しており、家族相談と訪問支援を平行したチームアプローチによって不登校・ひきこもり状態にある方々への支援を行う。臨床心理士・公認心理師が中心となって支援を行い、対人援助職の有資格者、大学生や大学院生、一般職の社会人等の多様なボランティアスタッフが訪問支援にあたる。

機関・団体に運営している 相談・支援機関名	カウンセリングルーム connect（東京都江東区）
機関・団体に運営している 相談・支援機関名	カウンセリングルーム connect 札幌駅前（北海道札幌市）

**【2 令和4年度中のアウトリーチの実績概要】**（訪問件数、対象、支援方法等を簡条書きで記載）

不登校・ひきこもり状態にある者への訪問支援 600 件程度

**【3 過去2年間における子供・若者の支援に関する研修実績】**

- ・2023年11月22日～29日 内閣府アウトリーチ研修  
受入人数：2名
- 2023年11月26日 NPO法人メンタルコミュニケーションリサーチ主催 訪問サポーター養成講座  
参加者：15名
- ・2022年5月20日 NPO法人メンタルコミュニケーションリサーチ主催 齋藤暢一朗「トラウマ・解離・自傷等を伴う不登校のお子さんのサポート」  
参加者：71名
- ・2022年3月26日 NPO法人メンタルコミュニケーションリサーチ connect 主催研修  
パリス祐子「AEDP 入門研修」  
参加人数：30名  
概要：心理療法 AEDP の概要について講義を実施。
- ・2022年2月 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 東京都自殺防止のための電話相談技能研修  
深谷篤史「ひきこもり支援におけるアウトリーチのケースマネジメント」  
参加人数：30名 概要：ひきこもり支援でのアウトリーチのケースマネジメントに関する講義を実施。
- ・2022年2月 特定非営利活動法人メンタルケア協議会 東京都自殺防止のための電話相談技能研修  
深谷篤史「ひきこもり支援におけるアウトリーチ」  
参加人数：30名 概要：ひきこもり支援におけるアウトリーチに関する講義を実施。
- ・2022年1月14日 広島県子供・若者支援協議会 令和3年度広島県子供・若者支援協議会・講習会（第2回）「不登校・ひきこもり支援における家族支援とアウトリーチ」  
深谷篤史「アウトリーチのポイント」  
参加人数：53名 概要：不登校・ひきこもり支援のアウトリーチについての講義を実施。
- ・2022年1月14日 広島県子供・若者支援協議会 令和3年度広島県子供・若者支援協議会・講習会（第2回）「不登校・ひきこもり支援における家族支援とアウトリーチ」  
齋藤暢一朗「家族支援のポイント」  
参加人数：53名 概要：不登校・ひきこもり支援の家族支援についての講義を実施。

#### 【4 過去3年間における国又は地方公共団体の委託事業や自主事業等】

<ul style="list-style-type: none"> <li>東京都若者社会参加応援事業（訪問相談）登録団体 2018年4月～2023年3月 東京都が実施するひきこもり等の問題を抱える若者の社会参加を応援するための事業であり、支援を通して、ひきこもり等の若者の社会参加に向けた自信と能力を向上するとともに、様々な体験を通じて、将来の方向性を考える機会を作ることを目的とする。2023年4月からは東京都社会参加等応援事業の連携団体に移行。</li> <li>東京都社会参加等応援事業連携団体 2023年4月～現在 東京都ひきこもりに係る支援協議会によるひきこもりに係る支援の充実に向けた提言（令和3年8月）の理念及び「ひきこもり等のサポートガイドライン（令和5年3月）」の趣旨を踏まえ、主に都内でひきこもり支援に係る活動を行う連携・協働の団体として活動。</li> </ul>
---

#### 【5 実地研修責任者・担当者】

	実地研修での役割 (実施責任者・担当者 等)	<ul style="list-style-type: none"> <li>保有資格（アウトリーチ関連）</li> <li>アウトリーチ経験年数</li> </ul>
1	北海道札幌地域での実地研修	臨床心理士、公認心理師 アウトリーチ経験年数 24 年
2	東京での実地研修	臨床心理士、公認心理師 アウトリーチ経験年数 13 年
3	千葉地域での実地研修	臨床心理士、公認心理師 アウトリーチ経験年数 21 年
4	埼玉地域での実地研修	臨床心理士、公認心理師 アウトリーチ経験年数 6 年
5	神奈川での実地研修	臨床心理士、公認心理師 アウトリーチ経験年数 5 年

#### 【6 研修生の受入条件】

	受入条件
受入可能日数	7日（活動日数）
受入可能日程	11月21日(火)～11月28日(火)
受入可能人数	東京、神奈川、千葉、埼玉地域のうち1名程度 北海道札幌地域のうち1名程度
保有資格（アウトリーチ関連）の要否、その他の受入条件	親面接の同席は原則臨床心理士もしくは公認心理師有資格者に限る。

## 【7 実地研修内容】

実 地 研 修 内 容	
※下記の「初日」～「最終日」までの研修内容については、過去の実績に基づいた予定となります。	
実地研修全体の概要	事例検討会の参加、不登校・ひきこもり支援に関連する研修会の参加、訪問支援の同行および振り返り、法人が主催する講演の聴講、家族相談の同席(有資格者のみ)。
研修初日の 開始予定時刻	13:00 開始
研修最終日の 終了予定時刻	12:00 終了
2日目以降の 研修開始時間	10:00 開始 (アウトリーチのアポイントメントによつては変更する場合あり)
2日目以降の 研修終了時間	18:00 終了 (アウトリーチのアポイントメントによつては変更する場合あり)
初日の内容	研修のオリエンテーション(法人の説明、支援事例についてなど)。
アウトリーチ (訪問支援) を実施しない日の内容	MCR主催の訪問スタッフ養成講座(「MCRのシステム」「不登校ひきこもりと家族支援」「訪問支援の実際」)への出席。MCRが企画する講演会への陪席。研修動画の視聴(「支援拒否事例への家族支援」「不登校・ひきこもりとトラウマ」等)。施設見学(カウンセリングルーム connect)、ケースカンファレンスへの出席。親面接の同席(原則として臨床心理士もしくは公認心理師有資格者)。
アウトリーチ (訪問支援) 同行日の内容	同意が得られた支援事例の訪問支援に同行する。同行後、振り返りを行う。
最終日の内容	支援事例及び研修全体の振り返り。
前年度実地研修でのアウトリーチ実施回	関東: 3回 北海道: 3回
今年度実地研修でのアウトリーチの回数(予定)	1～2回
研修生の宿泊について	指定なし
休業日について	研修期間中はなし。
備考欄 (服装等)	家族相談の同席にあたってはフォーマルな恰好、訪問支援にあたっては常識的な範囲でカジュアルな恰好をしていただくようにお願いします。感染症の状況によっては研修の一部をオンラインで実施することがあります。